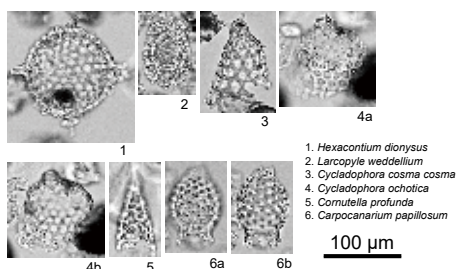




絶滅したヒゲクジラとイルカの共存



イサナケタスに近縁のヒゲクジラとケントリオドン・ホベツ（イルカ）。およそ1,600万年前のむかわ町穂別・平取町周辺。服部雅人氏提供。



1. *Hexacantium dionysus*
2. *Larcopyle weddellium*
3. *Cycladophora cosma cosma*
4. *Cycladophora ochotica*
5. *Cornutella profunda*
6. *Carpocanarium papillosum*



ヒゲクジラと共産した放散虫化石

ヒゲクジラ・イルカ化石 展示写真

ケントリオドン展示写真

ホッピーだより No.478 で紹介したヒゲクジラ化石は、平取町の佐藤進氏によって2008年6月に発見され、櫻井和彦学芸員（当時）が受け入れと追加採集を行いました。共同研究の一環で本山功教授（山形大学）による放散虫化石を用いた地質時代決定を行っていただいています。

ヒゲクジラ化石の隣に展示しているイルカ化石：ケントリオドン・ホベツ *Kentriodon hobetsu* は、地徳力学芸員によって1987年に穂別町（当時）か

ら発見され、一島啓人氏（当時オタゴ大学）によって1995年に新種として発表されました*。

これらのヒゲクジラとイルカは、ほぼ同じ時代の同じ海盆に生息していたので、イラストとして一緒に描いていただきました。双方とも絶滅したグループになりますが、1,600万年前の穂別周辺では、ヒゲクジラとイルカが共存していました。

* Ichishima, H, 1994, A new fossil kentriodontid dolphin (Cetacea; Kentriodontidae) from the Middle Miocene Takinoue Formation, Hokkaido, Japan. Island arc, vol. 3, p. 473-485. <https://doi.org/10.1111/j.1440-1738.1994.tb00126.x>

穂別博物館リニューアルへ（5）



ティラノサウルス骨格データは文化庁委託事業による国立科学博物館および TOPPAN 株式会社の成果物



むかわ町復興拠点施設等整備事業計画Ⅰ（イチ）
 実施設計資料

新しい博物館展示棟では白亜紀後期の恐竜（カムイサウルスやティラノサウルス）を中心に展示します。目玉の展示の一つはカムイサウルス実物化石の床下展示です。並べると全長 8 メートルになる実物化石を見ることができるようになります。

現在の博物館施設もそのまま残りますので、クビナガリュウやモササウルス、アンモナイトなどの展示も引き続きご覧いただけます。

路線バス 新千歳空港便 当面運休

穂別地区と新千歳空港を結ぶ路線バス「新千歳空港直行便」は委託業者による運行が難しい状況のため、10 月 1 日から当面の間運休となります。むかわ町穂別地区・穂別博物館に公共交通で来られる場合は、むかわ町穂別地区・JR 鶴川駅からの道南バス穂別鶴川線を利用するのみとなりました。

むかわ町穂別博物館

【公共交通機関による来館案内】 <http://www.town.mukawa.lg.jp/4356.htm>
 （バス停「穂別中央」～博物館は徒歩約 10 分）
 往路（札幌・苫小牧方面→博物館）

新千歳空港 10:40 ①→穂別中央 12:03
 ・苫小牧駅 7:51 ②→鶴川駅 8:20 -（乗換）- 鶴川駅前 9:35 ③→穂別中央 10:45

帰路（博物館→札幌・苫小牧方面）

穂別中央 16:17 ①→新千歳空港 17:40
 ・穂別中央 15:40 ③→鶴川駅前 16:45 -（乗換）- 鶴川駅 18:30 ②→苫小牧駅 18:59

①新千歳空港直行便（1,500 円）前日の 16 時までに予約（0145 45 2284）
 ② JR 日高本線（750 円）③道南バス 穂別鶴川線（200 円） ※各料金は大人1人分

2024年 10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2024年 11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

休館日 町民無料観覧日